

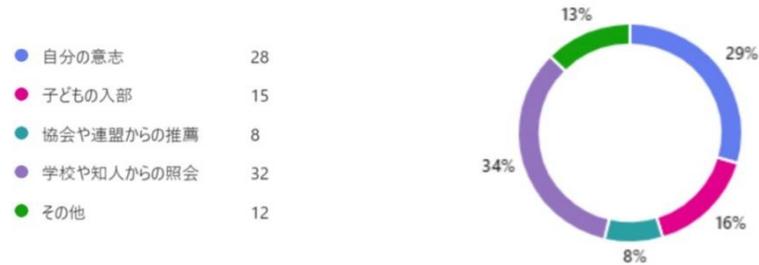
【概要版】鶴岡市部活動改革に関わるアンケート調査結果報告

指導者用

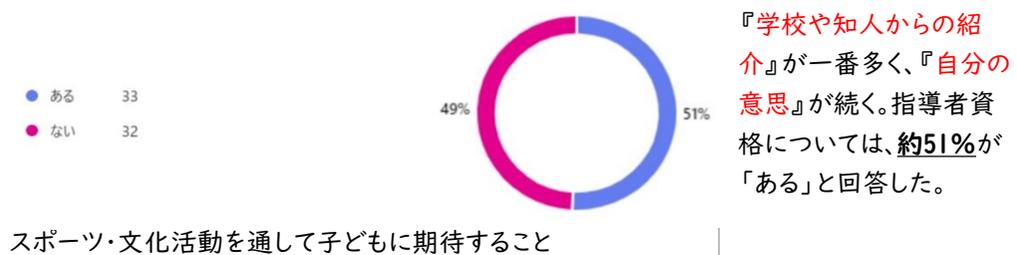
目的：昨年度からの休日の部活動の段階的な地域移行に伴い、現状を把握し、市内における新たなスポーツ・文化環境の整備充実のために実施するもの。

65人回答

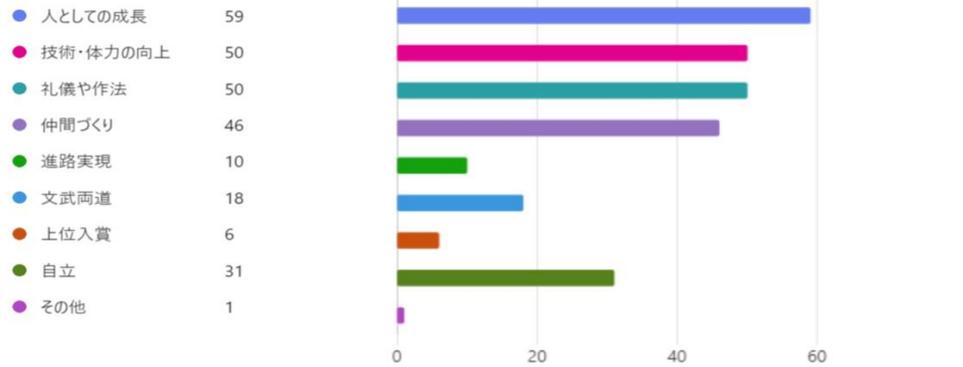
指導のきっかけ



指導者資格の有無

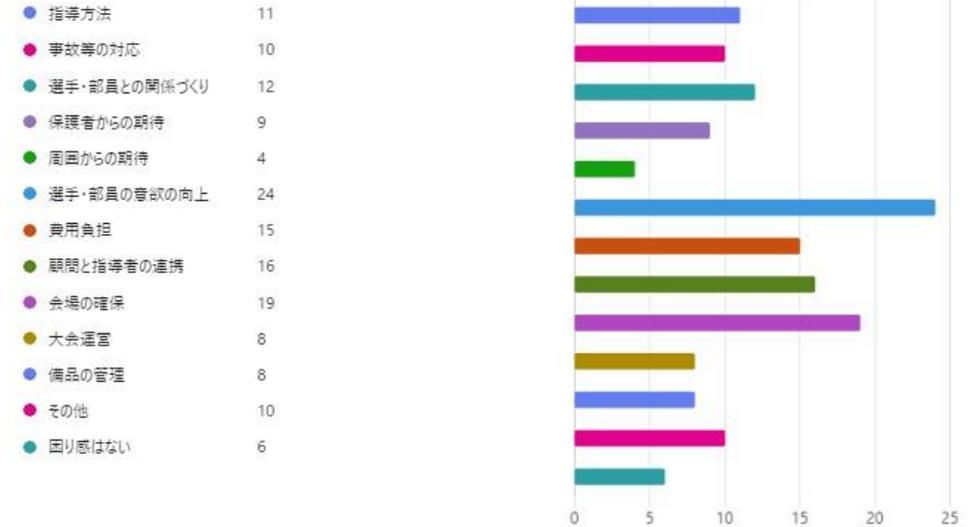


スポーツ・文化活動を通して子どもに期待すること



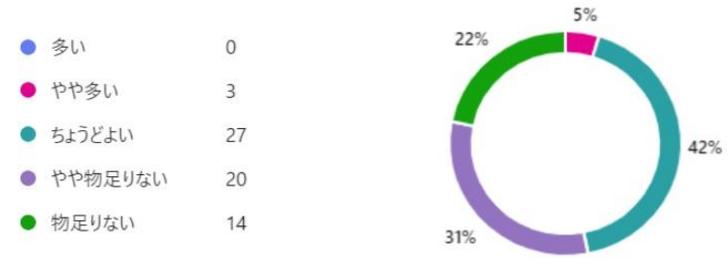
スポーツ・文化活動を通して子どもに期待することとして**約90%**の指導者が『**人としての成長**』と回答した。続いて『技術・体力の向上』『礼儀や作法』と回答した。その他として「モノを大切に作る姿勢」「感謝の気持ちを持つ」などがある。

現在の土日休日のスポーツ・文化活動での困り感



現在の土日休日のスポーツ・文化活動での困り感として、**約36%**の指導者が『**選手の意欲の向上**』と回答した。昨年度より4ポイント高い。続いて『会場の確保』であった。その他として「クラブ化による役割の増加」「仕事との両立」「指導者手不足」などがある。

現在の土日休日のスポーツ・文化活動時間及び日数



現在の土日休日のスポーツ・文化活動の時間及び日数は、**約42%**が『**丁度良い**』と回答し、**約53%**が『**物足りない・やや物足りない**』と回答した。

### 現在の土日休日のスポーツ・文化活動の満足度

● 満足	6
● やや満足	21
● やや不満足	29
● 不満足	7

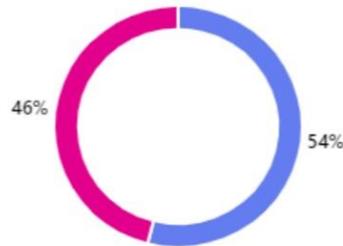


現在の土日休日のスポーツ・文化活動の満足度は、**約43%**が『満足・やや満足』と回答した。昨年度より8ポイント低い。

不満足の理由として、「仕事の両立が厳しい」「練習時間が短い」「地域移行に伴い負担が増加した」「施設利用がうまくいかない」等がある。

### 令和7年度中体連主催大会参加に伴うクラブ登録希望

● 希望する	34
● 希望しない	29

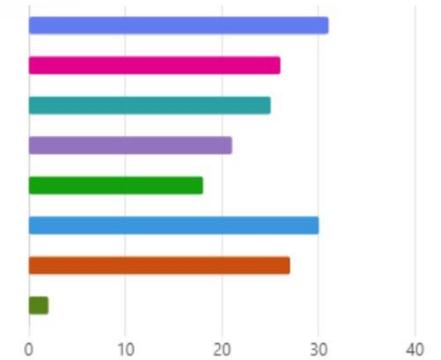


令和7年度中体連大会参加に伴うクラブ登録希望は、**約54%**が『登録を希望する』と回答した。昨年度より3ポイント高い。

バスケットボール、バレー、野球、卓球、剣道、陸上、バドミントン、ソフトテニス、器械運動、サッカーなど多岐にわたる。

### これからの補助制度の必要性

● 移動に係る経費	31
● 施設使用に係る経費	26
● 指導者等への謝礼	25
● 登録に係る経費	21
● 保険に係る経費	18
● 用具等購入に係る経費	30
● 大会への参加に伴う経費	27
● その他	2



**94%**の指導者が、補助は『必要』と回答した。

特に「用具等に係る経費」「移動に係る経費」が必要であると、指導者が回答した。その他として、「若手指導者育成」「楽器輸送」などがある。

### これからのスポーツ・文化活動の在り方についての意見・要望等

- ・指導者の謝金は必要である。
- ・子供たちの活動を地域で認知してもらって応援、支援してもらう事が必要。指導者も日々向上心をもって学び続けることが必要。
- ・学校の先生方との連携をとってもらいたい。
- ・活動に係る経費は補助金頼みではなく、受益者負担が良い。
- ・市内で子供達の経験や体力に格差がないようにしていただきたい。
- ・土日指導に先生がつかないのであれば、部活動というものは廃止にし、クラブに所属して指導したい先生方を増やして欲しい。
- ・現在の保護者会クラブでの活動時のケガや事故の責任の所在はどうすべきか。

### 《考察》

- ・現在の改革に理解を示す一方、指導者の育成や負担の増加など、不安に感じる声は続いている。指導者の確保は大きな課題である。
- ・土日の活動の「やや不満足・不満足」と回答した指導者は半数以上であった。仕事の両立が難しい、練習時間が短い、施設利用に関するなどが理由である。
- ・持続可能な体制づくりを構築するためには、会場の使用、報酬を得ながら活動していく必要があると回答した指導者が多くいた。